

「命の大切さ」後世に

震災14年



群青を歌う小高中の生徒

小高中生、京都、長崎の生徒と交流

「群青」を合唱

小高（南相馬市）の生徒が21日、「命の大切さ」をテーマに京都御池中（京都市）と山里中（長崎市）の生徒とオンラインで交流した。生徒が東日本大震災や原発投下などについて、自ら調べて学んだことを紹介し、小高中の生徒と教諭が作った合唱曲「群青」を声をそろえて歌うなどして災害と戦争の記憶を後世に伝えることを誓い合った。

「群青」を歌い続けている京都御池中が、歌を制作した小高中と、修学旅行などで交流があった山里中呼びかけ、初めて企画された。小高中全校生徒約30人を含む3校

の計1200人が交流した。

「群青」には、人々が思うように生活できなかったやりきれなさや離ればなれになった思いが込められていると紹介した。

同校3年の佐藤瑚夏さんと宝槻なつ子さんは「群青を歌い継ぐことで、悲しみと14年の小高の人々の歩みを伝えられる」と訴え、「震災の年に生まれ、当時の記憶はないが、伝え続けることはできる。震災の記憶を風化させない」と思いを語った。

このほか、山里中の生徒は長崎がテーマの歌「空は今」を合唱。生徒会平和部の活動などを説明し「私たちは長崎を最後の被爆地にするため、できることをしていかなければならない」と語った。京都御池中の生徒は阪神・淡路大震災から30年を迎え、災害に強いまちづくりに取り組み神戸市の様子などを発表した。最後に「群青」を参加者全員で合唱した。

▲ 2月22日 福島民友新聞掲載

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。(330字程度)

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのように
どうやって
(How)

なぜ
どうして
(Why)

合唱曲「群青」はネット等でも聞けるよ。ぜひ聞いてみては？



「ジュニア窓」にようこそ

福島民友投稿のページ「窓」に送る